**令和６年度**

**環境省請負業務**

**令和６年度**

**環境影響評価技術手法調査業務**

**報　告　書**

**令和７年３月**

**株式会社プレック研究所**

目次

序　業務概要 i

１．業務目的 i

２．業務期間 i

３．業務実施体制 i

４．業務内容 ii

第1章　環境影響評価審査事業に係る累積的影響の評価・分析法　　及び累積的影響に対する環境保全措置に関する情報収集 1－1

１．諸外国における累積的影響評価の動向 1－1

（１）学術論文数からみた諸外国における累積的影響評価への取組状況 1－1

（２）北米及び欧州における累積的影響評価に係る制度の概要 1－1

２．諸外国のガイドラインからみた累積的影響評価の一般的事項 1－4

（１）収集対象としたガイドラインと整理項目 1－4

（２）ガイドラインからみた累積的影響評価の制度的側面 1－14

（３）実施上の課題 1－25

３．累積的影響評価の事例 1－27

（１）EIA・SEA報告書の中の累積的影響評価の事例 1－27

（２）そのほかの累積的影響評価と管理の事例 1－31

第2章　ヒアリング調査 2－1

１．ヒアリング対象者と実施状況 2－1

２．ヒアリング結果 2－2

（１）累積的影響に係る制度等全般について 2－2

（２）我が国における累積的影響の実態や取組の現状と課題 2－6

（３）生態系・生物多様性に係る累積的影響の評価について 2－12

第３章　累積的影響の基本的考え方と導入にあたっての課題 3－1

１． 調査から得られた累積的影響に係る基本的な知見 3－1

（１）インパクターとVEC 3－1

（２）累積的影響評価の条件 3－2

（３）VECの閾値(容認限度) 3－3

（４）累積的影響評価と対象とする時間 3－5

（５）累積的影響評価の検討エリア 3－5

（７）リスクの累積 3－6

（６）プロジェクトEIAの累積的影響評価と広域の累積的影響評価 3－6

２．我が国の制度に位置づけるにあたっての課題 3－8

（１）国や自治体の制度の中で運用する可能性 3－8

（２）制度以外で累積的影響評価を活用する可能性 3－11

（３）ミティゲーション 3－12

（４）技術的課題 3－16

３．今後の取り組みの提案 3－19

（１）環境影響評価法への導入を想定した枠組み検討に向けた取組 3－19

（２）生物の広域累積的影響評価のケーススタディーの実施 3－19

（３）景観の広域累積的影響評価のケーススタディーの実施 3－20

（４）累積的影響評価運用の枠組みの可能性の検討 3－21